

ともに住まい、ともに成長する新しい学生寮

お茶大SCCは人と人とのつながりを大切にする、新しいタイプの学生寮です。
小石川寮に隣接し、大学まで徒歩5分の好環境。
玄関を2つの建物で共有し、また、お茶大SCCの1階にある
ラウンジは2つの寮生が共同で使用します。
さまざまな出会いの中で、助け合い、協調しあい、ともに成長していく…。
生活空間でありながら、キャンパスライフに寄り添うもう1つの学舎です。



CONCEPT

- 個性豊かな学生たちの人間関係の中で社会性を培い、多様な価値観を認め合う場所
- 他者と自己を知り、他者と折り合い、他者の力を借りながら、各々が自己実現をめざして生活できる場所
- 他人と助け合い、お互いを認め合うことで、自立性と協調性を持った人格を育む場所

5人で1つの小さなコミュニティ《ハウス》。

プライバシーを守った個室を確保しつつ、キッチンや浴室は5人のハウス・メンバーで共有します。
今まで知らなかった者同士が知り合い、助け合い、ともに生活する中で、それぞれが自分探しをして、
自己実現を目指すことができる環境です。

緩やかな共生のためのハウス制 ハウスを構成するABC

Amenity Facilities

快適性を考慮した環境整備



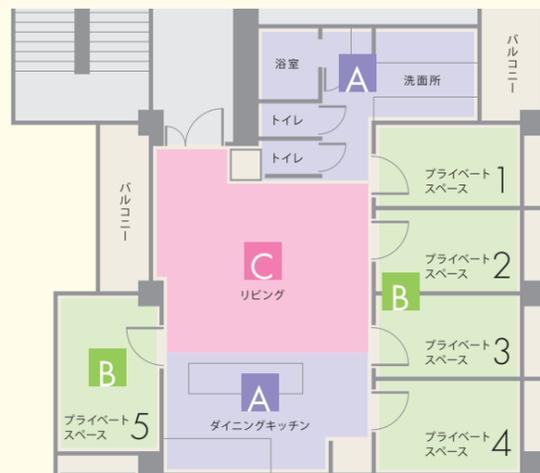
Bedroom Space

個として静かに過ごす空間



● プライベートスペース

ベッドルームは一人一人のプライバシーを確保したスペースになっています。ベッド、机、エアコンなど快適に暮らせる設備に加え、情報端子もありますので、インターネットの利用も可能です。寮には管理人を配置し、夜間休日には警備員を配置しますのでセキュリティ面も安心安全。3月には寮生活の締めくくりとして、協調性と柔軟性のある自立した学生であることを認め「修了式」を行います。



Communicate Living

ハウスメイトと交流する場



● ラウンジ

ラウンジは、お茶大SCCの1階にある多目的のルームで、お茶大SCCと小石川寮の寮生が共同で使用します。
大型デスクを囲んで勉強会をしたり、プロジェクターで映画を観たり、くつろいだり、目的に応じて自由に使用できます。

学生支援プログラム

お茶大SCCの3つのコンセプトに基づいて、学生を支援する「学生支援プログラム」が用意されています。寮生同士の交流を促すウェルカムパーティや寮祭などのイベント、寮生自身が企画・運営する自主企画、大学が提供する学修プログラムなど、多彩なプログラムを通じて、いろんな友人と交流することで、かけがえのない体験・成長が得られます。

学生同士の交流

- 寮生の適応・交流のための取り組み
- ウェルカムパーティ
 - 寮祭 など

担当:学寮アドバイザー
(交流・生活に関するサポート)

自主性・自律性を養う

- 寮生による自主企画
- ボランティア活動
 - 映画上映会 など

担当:寮生組織
(寮生協議会/ハウス長)

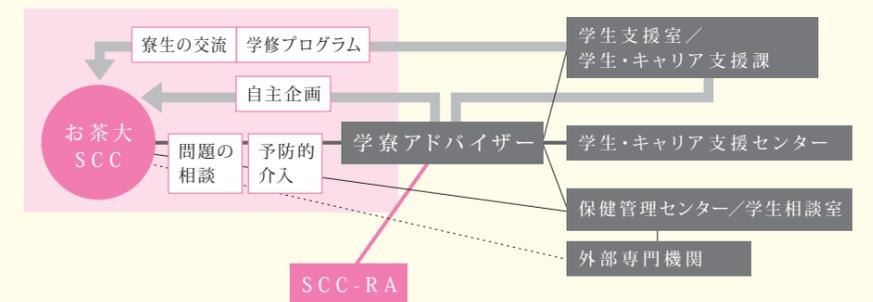
広い視野・学修の促進

- 大学が提供する学修プログラム
- 地域・社会との共生 など

担当:学生支援室/
学生・キャリア支援センター

大学のサポート体制

親元を離れての暮らしには何かと不安がつきものですが、大学にも寮生をサポートする体制が整えられています。大学に常駐する学寮アドバイザーは、寮生と協同して各種イベントを企画したり、困ったときの相談窓口にもなってくれます。また、学生支援室、保健管理センターなども連携して、寮生の学修の場を提供したり、心身の問題にも対応してくれます。



寮生組織

お茶大SCCでは、5人で1つの「ハウス」を構成して暮らします。そして、全寮生で「寮生協議会」を構成し、各ハウスごとに、ハウスメンバーが右のような5つの役割を担います。それぞれの役割に寮生が属して活動を行い、寮生活を円滑に進められるようなサポート体制を作ります。また、2年間の在寮経験のあるSCC-RA(レジデント・アシスタント)は、寮生が主体的に生活・活動ができるように、連携して対応します。

